

第6学年 国語科学習指導案

日時 平成26年10月10日(金)6校時
場所 6年2組 教室
児童 男20名 女14名 計34名
指導者 千田修子

1 単元名 作品の世界を深く味わおう(読むこと)

学習材名 「やまなし」「(資料)イーハトーヴの夢」 (光村図書 六 創造)

補助教材 宮沢賢治の作品、宮沢賢治の伝記等

2 単元について

(1) 児童について

児童は一学期に視点を中心人物から対人物に変え、表面には表れていない対人物の心の変容をとらえることで、人物相互の関係や心情を読み取り、自分と関連させて読む学習をした。

読むことの学習においては、直接的に描写されている登場人物の心情を根拠として読み取ることはできるが、暗示的に表現されたものから想像して読むことは十分とはいえない。また、文章読解力についても文や語句の意味は理解できても、文章構成や前後の関係を考えて読んだり、全体の主題を読んだりすることは苦手と感じている児童が多い。

読書の様子をみると、小説入門的な作品を学習したことで、文学のジャンルに親しむ入口として、読書の領域を広げることができた。また、伝記作品は人気が高く好んで読書をしていて、郷土の作家として宮沢賢治についても知っているが、その作品を実際に読んだ児童は少ない。

(2) 学習材について

本単元は、賢治の代表作「やまなし」と、資料として添えられた賢治の伝記「イーハトーヴの夢」から構成されている。「やまなし」は「五月」と「十二月」の幻想世界が対比的に描かれていて、かこの会話や美しい情景描写、比喩・擬声語・擬態語・造語で賢治独自の世界観が表現されている。それは賢治自身の内面を映し出した作品として、作者を意識して作品を読むことに適している。また、「やまなし」をはじめ賢治の作品は、独特の言葉遣いやリズムある表現になっていて、児童の興味や関心を引くものである。

「(資料)イーハトーヴの夢」は賢治の世界に深く関わる筆者が、小学生のために書き下ろした評伝であり、賢治の生い立ちや環境、生き方や考え方を知ることができるものとなっている。そして作品に込められた賢治の思いにもせまる手がかりとなり、並行読書でも視点をもって読み進めることができると考える。

(3) 指導にあたって

本単元では「作品の世界を深く味わおう」というねらいのもと、「(資料)イーハトーヴの夢」で、賢治の人物像や考え方に触れ、「やまなし」と重ね合わせて、作品の表現の魅力や作品世界と作者の生き方や考え方を関連させて読む学習展開となる。単元を通して賢治作品の並行読書に取り組み、賢治の作品と賢治の生き方を関わらせ、キャッチコピーと印象的な文章、自分の考えをカードにまとめ、「宮沢賢治を語る会」を開き友達の考えを聞き合う。

第1次では、「(資料)イーハトーヴの夢」について既習の伝記の読み方を活用し、賢治の行動や言葉、業績から人物像をまとめ、筆者の説明を基に生き方や考え方をとらえ、賢治とその作品に関心をもたせる。今回は「やまなし」の内容をとらえやすくするため、「(資料)イーハトーヴの夢」を先に学習し、賢治の生き方や考え方に触れた上で、「やまなし」を読み、作品に込められた思いをとらえていく。

第2次では、「やまなし」の「五月」と「十二月」の幻灯の情景を読み比べ、「やまなし」に込められた作者の思いをまとめる。主語に着目させて優れた表現を言葉と絵でイメージさせることで、中心人物の変容が読み取りやすくなることに気付かせ、「五月」「十二月」の谷川の情景の対比し、主題をとらえさせる。そして、イメージ豊かに読み取った「やまなし」の文章の中に賢治の生き方を見つけていくのである。

第3次では、賢治の他の作品も読み広げ、「宮沢賢治を紹介する会」を開く。自分が選んだ作品について、

作家の人生と重ね合わせながら読む、構成や表現に着目する、作品の中の重要な要素に注目する、の観点から読んでいく。これらの観点で読んだことをもとに作品のよさについての自分の考えを広げたり深めたりする。作者の生き方や考え方を理解しながら作品を読むという学習から、賢治の作品に親しませ、読書の幅も広げたいと考える。

3 単元の指導目標と評価規準

観 点	目 標	評 価 規 準
国語への関心・意欲・態度	物語の情景や言葉の使い方に興味をもち、作者の考え方や生き方を知らうとしている。	宮沢賢治の作品に興味をもち、作者の考えと関わらせながら読もうとしている。
読む能力	物語の様子をとらえ、優れた叙述に気付くことができる。(1) エ 複数の作品や文章を比べて読み、作者のものの見方や考え方について考える。(1) カ	叙述をもとに情景を想像して読んだり、作者と作品に込められた思いについて考えたりして、作品のよさを読み味わっている。
言語についての知識・理解・技能	物語の構成や比喻などの表現上の特色について理解することができる。(1) イ (カ)	比喻表現、擬声語・擬態語、色彩表現などの工夫に気付いている。

4 単元の学習指導計画 (全8時間)

【指導過程】

【問題解決の流れ】と【主な学習活動】

第1次

「資料 イーハトーヴの夢」を読み作者について知り、並行読書への興味と関心をもつ。
(2時間)

【主な学習活動】

- ①「資料 イーハトーヴの夢」を読み感想を聞き合い、賢治の生き方や考え方について、年表等にまとめる。
- ②宮沢賢治についてまとめたことを聞き合い、人物像や生き方、考え方をつかむ。賢治作品を紹介し、並行読書の意欲をもたせる。

宮沢賢治さんの「やまなし」はどんな世界だろう。
賢治が「やまなし」にこめたメッセージはなんだろう。

第2次

「やまなし」を読み「五月」と「十二月」の幻灯の情景を読み比べ、「やまなし」に込められた思いをまとめる。
(4時間)

【主な学習活動】

- ③「やまなし」を読み感想を聞き合い、賢治作品の特徴をつかむ。
- ④ 作品の叙述を手がかりに、2枚の幻灯を簡単な言葉や図で表し、まとめる。「五月の谷川」「十二月の谷川」
- ⑤「五月」と「十二月」の場面を叙述をもとに対比させていることを読む。
- ⑥賢治が「やまなし」にこめたメッセージを賢治の生き方や考え方と関連させてまとめる。【本時】

第3次

作品に込められた作者のメッセージをまとめ、伝え合う。(2時間)

「やまなし」と同じような方法で作品が読めるだろうか。
自分が読んだ宮沢賢治さんの作品とメッセージを紹介したい。

◆賢治に関する資料や伝記を読み、賢治について理解を深める。
◆賢治の作品を読み、賢治の考え方と関わらせ作品のキャッチコピーを考える。「宮沢賢治を紹介する会」を開く。

【主な学習活動】

- ⑦自分が選んだ賢治作品と作品に込められたメッセージをまとめる。
- ⑧賢治作品のよさや賢治の生き方や考え方について伝え合う。

5 本時の指導（6／8）

(1) 目標

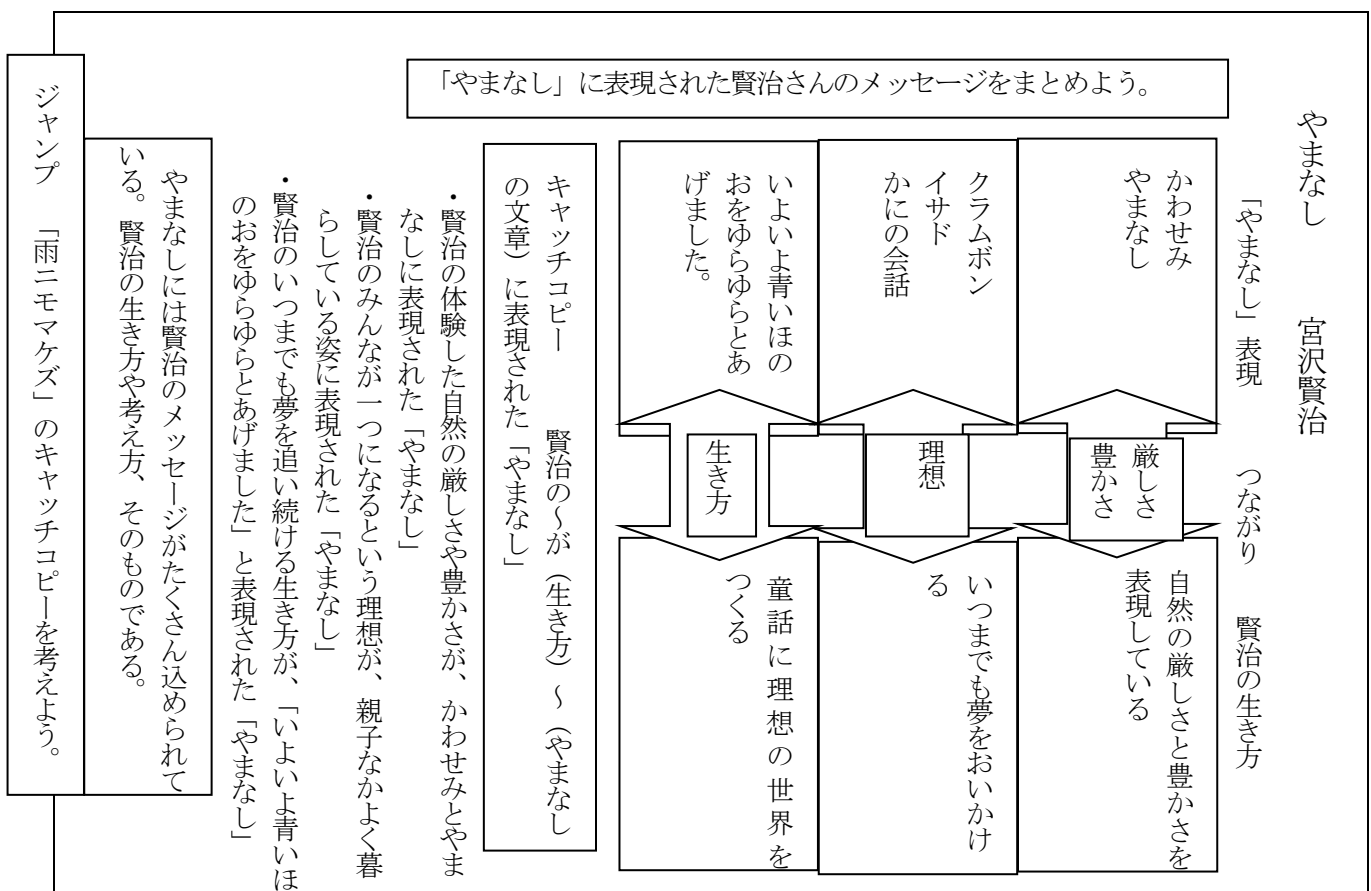
- 「やまなし」に表現された情景と作品に込められた賢治のメッセージをまとめ、賢治の生き方や考えと関連付けて読むことができる。

(2) 展開

階	学習活動	学習内容	教師の支援と評価, ★手立て
つかむ 5分	1. 本時の学習課題を確認する。 ・「やまなし」の音読 「やまなし」に表現された賢治さんのメッセージをまとめよう。		・対比させた「五月」と「十二月」の情景から、作品から読む学習をしたことを想起させる。
学び合う ふかめる 20分	2. 学習課題を解決する。 (1) 「やまなし」の中に賢治の生き方が表れているところを見つけ、「やまなし」にキャッチコピーをつける。 【文型】 賢治の～（生き方）～が～（やまなしの文章）に表現された「やまなし」 ◆個人 ◆グループ 【読み広げの観点】 ①構成や表現に着目する。 ②作品の中の重要な要素に注目する。 ③作家の生き方と重ね合わせながら読む。 (2) 「やまなし」に込められた賢治の生き方をまとめる。 ・「やまなし」のキャッチコピーを紹介しよう。 ◆全体 3. 「やまなし」の学習を振り返る。 ・「やまなし」の学習を通して、印象に残ったことを話しましょう。 「やまなし」には、賢治のメッセージがたくさん込められている。賢治の生き方や考え方そのものといえる。	○優れた表現, 対比中心人物の変容	・様々な考えを収束させていくための活動として、キャッチコピーを考えさせる。 ・宮沢賢治の人物像や考え方を思い出しながら、イメージ豊かに読み取った「やまなし」の文章の中に賢治の生き方を見つけさせる。 ・個々の考えをグループで共有化させ、読みの視点に沿って話し合いをする。 ★読みの観点を使い、友達の考えを聞き、共通性や関連性をまとめていく。 【手立て2】 〈評価〉キャッチコピーをつけることで「やまなし」に込められた、賢治の生き方や考え方を読んでいる。 【読むこと】 〈評価方法〉観察・ノート ★作品を読んだり表現したりする時には、作者の意図を考えながら読むと、味わい深いものになることをおさえる。 【手立て3】

ひろげる 20分	<p>4. 「雨ニモマケズ」の朗読を聞き、賢治の生き方を感じ取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「雨ニモマケズ」のキャッチコピーを考えよう。 【ジャンプ】</div> <ul style="list-style-type: none"> 朗読を聞き、賢治の生き方を推測しよう。 ◆全体 <p>5. 他の作品にも読み広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 賢治を紹介する会の賢治作品を準備しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 「やまなし」で学習した読み方で「雨ニモマケズ」を読み、普段の読み方との違いを比べさせる。 自分が読んでいる作品を紹介し合い、意欲、関心をもたせる。
-------------	--	--

(3) 板書計画



	1		3		5		7